

YEAR BOOK 2018

2017年度事業報告書



CONTENTS

1. ビジョンとミッション 3
 ビジョン
 ミッション
2. 自然再生の共感 3
 会員数
 賛助会員（団体）
 受託事業
3. 自然再生のプログラム 4～9
 環境循環システムの再構築 4・5
 - 海藻の循環利用～藻がーる～
 - 二枚貝のモニタリング
 - 窪地埋め戻し 次世代につなぐ環境教育 6～8
 - 意東小学校での環境学習
 - 八束学園での環境学習
 - 天神川の水草刈り& 水質調査・生き物の観察会
 - サマースクール
 - 楽習スペースの設置 五感で感じるソーシャルデザイン 9
 - 中海・穴道湖の食を広めよう会
 - 中海圏域の利・活用プロジェクト
4. メディア 10
 ホームページ・広報誌（水縁隊）・SNSによる発信
 取材・講演
5. 自然再生センターについて 11
 法人概要と組織
 中海自然再生協議会の運營業務
 法人活動を考える「見える化ツール」開発
6. 支援いただいている皆様 12





1 ビジョンとミッション

ビジョン

「未来につなげ、ふるさとの水辺」

ミッション

- ふるさとの水辺が作る循環型の暮らしを学ぶ機会を人々に提供する
- 持続可能な社会を実践する次世代の雇用の場（働き方）となり、地域の価値を全国に発信する
- 中海・宍道湖とその流域の自然再生・循環型社会を再構築するために住民・企業・行政・専門家と展開し未来につなげる



2 自然再生の共感

会員数 (2017年度)

| | |
|----------|------|
| 正会員 | 122名 |
| 賛助会員（個人） | 65名 |
| 賛助会員（団体） | 19団体 |
| 窪地会員 | 9団体 |

賛助会員（団体）

(50音順・敬称略)

アジア建設工業株式会社／株式会社板倉重機／今岡ガクブチ店／株式会社ウオタニ／カナツ技建工業株式会社／環境システム株式会社／来待石灯ろう協同組合／サンイン技術コンサルタント株式会社／一般財団法人 宍道湖西岸森と自然財団／東洋ソーラー株式会社／中海漁業協同組合／中浦食品株式会社／株式会社日本海技術コンサルタンツ／平井建設株式会社／公益財団法人 ホンザキグリーン財団／松江土建株式会社／美保テクノス株式会社／和光産業株式会社

受託事業



- 1 中海浚渫窪地の環境修復実証事業における環境調査業務：中国電力株式会社
- 2 中海覆砂地区他における二枚貝生息環境改善モニタリング調査：中国電力株式会社
- 3 藻が～る 鬼太郎もびっくり！ご縁を結ぶ中海のお・ご・の・りー島 根県・鳥取県（鳥取・島根広域連携事業）
- 4 自然再生協議会を対象とした社会学的評価試行業務：環境省

3 自然再生のプログラム

環境循環システムの再構築

●海藻の循環利用

藻が一ەر鬼太郎もびっくり!

ご縁を結ぶ中海のお・ご・の・り(島根県・鳥取県)

島根鳥取両県協働事業で2016年度からの二年目の事業では、生態系に配慮する伝統的な手法で海藻を刈取り、海藻資源を農業に利活用することで、持続可能な社会の構築、またそれらを通じた地域づくりに挑戦します。そのために、海藻回収による中海や地域の環境改善に向けた効果、また、障がい者が自然再生に携わる効果を社会的に評価しさらに、多様な立場の人々が携わり、住民が参加できる仕組みを企画することで地域づくりを目指しました。その結果2018年度からは、「一般社団法人セブンイレブン記念財団環境NPO自立支援強化助成事業」に採択され、自主事業として展開することとなりました。

●二枚貝のモニタリング

2014年度より、窪地水質が二枚貝に与える影響や生育状況について検証を行っています、2017年度は前年度から引き続き行っている窪地での生育調査と共に、覆砂整備した浅場での生育調査を行いました。

●窪地埋め戻し

中海浚渫窪地の環境修復を目的として、2012年度より浚渫窪地に石炭灰製品(Hiピース、Hiピース・ロック)を敷設し、継続してモニタリングを行い、環境修復効果の検証を行っています。



〈協力関係者〉
中海の漁師さん





一緒にやってみませんか？

環境学習に参加いただける学校や、環境学習のためのボランティアスタッフを随時募集しております！興味のある方は、ぜひ一度ご連絡ください！



● 意東小学校での環境学習

学習を始めた頃の子ども達は、中海について無関心の様子でした。地域の方の話を聞いて、問題に取り組む活動を知り、そして実際に中海で水や生き物に触れたことで心が変わっていきました。昔は中海の名物だった赤貝を復活させようと尽力されている漁師さんとの交流、また地域の方から伝統料理を教わって他県産の赤貝と味比べ。中海で育った赤貝の美味しさを体感した子ども達は、最後の授業「赤貝販売」にて、誇りと自信を持った姿で中海産赤貝の良さを伝えながら販売しました。



● 八束学園での環境学習

認定NPO法人アサザ基金の飯島博さんを特別講師にお招きし、海藻の循環利用について学びました。「生きものとおはなしする方法」を教えてもらい、生きものと自然は“ありがとう”でつながっていて、同じように自然と人間も“ありがとう”でつながっています。「中海はありがとうでつながっているのか」を考えました。生きものと話してみても、自分の世界を広げたいと感じました。



● 天神川の水草刈り&水質調査・生き物の観察会

夏の恒例行事として地域の皆さんとの協働によって、天神川に繁殖した水草を刈り取ります。刈り取った水草は大根島の畑へ搬入し（松江市との協働）、化学肥料に代わる土壌改善の資源として循環利用します。子どもたちに楽しく水辺に親んでもらうための水質調査や生き物観察会も同時に実施します。



● サマースクール

夏休みに宍道湖湖畔で小学生を対象に行いました。子ども達とともに、生き物や水質の調査、ボトルアクアリウムづくりをしました。夏休みの自由研究としても好評でした。

● 楽習スペースの設置

当法人の長期的な課題のひとつである「法人を委ねられる後継者の発掘・育成」のための施策のひとつとして、子どもたちとの接点強化のための<楽習スペース事業>に着手したいと考えています。2017年度は、2回に渡り地域の保護者や有識者の意見を伺うミーティングを実施し、高校生に海外留学経験談を聴くイベントも開催しました。



【講演・出張授業】

| 日付 | 依頼先 | 内容 | 場所 |
|--------|----------------------|---|--------------------------|
| 6月8日 | 松江市立意東小学校 | 「大好き！中海」（中海の今、昔①） | 意東小学校 |
| 6月9日 | 島根大学 教育学部附属中学校 | 「自然再生は、地域再生～一人ひとりが、ちいきの資源～」 | 島根大学教育学部 附属中学校 |
| 6月14日 | 松江市立意東小学校 | 「大好き！中海」（中海の今、昔②） | 意東小学校 |
| 6月15日 | 松江市立意東小学校 | 「大好き！中海」（赤貝復活の仕事を见に行こう） | 意東港 |
| 7月3日 | 松江市立意東小学校 | 「大好き！中海」（今の中海を知らう！①（クルーズ）） | 意東港 |
| 7月10日 | 松江市立中央小学校 | 「私たちのまちの天神川～自分たちができること～」（天神川の水質・生物調査） | 天神川 |
| 9月8日 | 松江市立内中原小学校 | 「堀川や宍道湖とわたしたちの暮らし」（自然再生センターについて&松江の水辺について） | 内中原小学校 はちみつホール |
| 9月29日 | 松江市立意東小学校 | 「大好き！中海」（今の中海を知らう！②（ゴズ釣り/ゴズ調理）） | 中海漁協前の船着場 意東小学校（家庭科室） |
| 10月11日 | 松江市立八束学園 | 霞ヶ浦から出前授業①「生きものとおはなしする方法」 | 八束学園 |
| 10月12日 | 松江市立八束学園 | 霞ヶ浦から出前授業②オゴノリの生物調査・畑への散布 | 江島港 |
| 10月26日 | 松江市立内中原小学校 | 「堀川や宍道湖とわたしたちの暮らし」（小魚釣り&指標生物による調査） | 内中原小・交友橋周辺 （四十間堀月照寺橋） |
| 11月13日 | 公益財団法人 ふるさと島根定住財団 | 平成29年 NPO 法人理事のための勉強会 本気で「理事会」改革 「理事・理事会の改革について」公益財団法人 | ふるさと島根定住財団 |
| 11月17日 | 福井県安全環境部 | 平成29年 SATOYAMA イニシアチブ推進ネットワークシンポジウム 「中海自然再生活動における資金確保と多様な主体の協働」 | 福井県敦賀市 |
| 12月5日 | 松江市立意東小学校 | 「大好き！中海」（赤貝料理を学ぼう！：赤貝料理授業） | 意東小学校（家庭科室） |
| 12月15日 | 松江市立意東小学校 | 「大好き！中海」（赤貝を販売しよう！：小学生たちによる赤貝販売） | 意東公民館前 |
| 1月28日 | EPO ちゅうごく | ESD 学び合いフォーラム 魅力ある地域をつくる私達の学びと取組み～持続可能な開発の為の教育（ESD）の活用法～海を取組「大好き！中海・宍道湖」 | 島根大学 |

【タモ網を使った環境学習】

| 小学校名 | 場所 | 時期/回数 | 小学校名 | 場所 | 時期/回数 |
|----------------|----------------------------------|---------|-----------------------|--------------------|---------|
| 松江市立朝酌幼稚園 | 中海（本庄子どもの水辺） | 7月/1回 | 安来市立広瀬小学校 | 飯梨川 （広瀬紺センター付近） | 6～9月/2回 |
| 松江市立生馬幼稚園 | 中海（本庄子どもの水辺） | 6月/1回 | 松江市立母衣小学校 （生き物クラブ） | 母衣小学校 ピオトープ | 5～6月/2回 |
| 松江市立大谷幼稚園 | 中海（本庄子どもの水辺） | 9月/1回 | 松江市立本庄小学校 | 中海（本庄子どもの水辺） | 7～8月/2回 |
| 松江市立宍道保育園 | 佐々布川（宍道小学校横） | 7月/2回 | 乃木公民館 | 宍道湖（嫁ヶ島） | 6月/1回 |
| 松江市立竹矢幼稚園 | 中海（本庄子どもの水辺） | 9月/1回 | | | |
| 松江市立中央幼稚園 | 中海（本庄子どもの水辺） | 6月/1回 | | | |
| 松江市立本庄幼稚園 | 中海（本庄子どもの水辺） | 6～9月/7回 | | | |
| 松江市立御津保育所 | 中海（本庄子どもの水辺） | 7月/1回 | | | |
| 松江市立持田幼稚園 | 中海（本庄子どもの水辺） | 7月/1回 | | | |
| 安来市立赤江小学校 | 飯梨川（飯梨橋下） | 6～9月/3回 | | | |
| 安来市立赤屋小学校 | 伯太川支流小竹川 （赤屋小学校下） | 8月/1回 | | | |
| 松江市立 内中原小学校 | 松江市堀川 （四十間堀内中原小横 園山俊二記念公園） | 10月/1回 | | | |
| 松江市立島根小学校 | 澄水川 （島根町加賀 別所） | 9月/1回 | | | |
| 松江市立乃木小学校 | 山居川 （やぞり橋付近） | 6月/3回 | | | |



● 中海・宍道湖の食を広めよう会

中海・宍道湖と圏域の新鮮な食材を使った料理で、地元食への関心を高めるとともに、地域コミュニティとの接点づくりや、会員・寄付へとつなげる貴重な機会となっています。海と山のものをふんだんに使ったお料理は見た目も美しく、素材を大切にした味はおいしさとともに新しさがあり、地元の人にとって毎回新鮮な発見がある内容となっています。近年では県外からのご参加者も増えその広がりを見せています。多くの人にとっての関心事である「食」を通じて自然と地域を取り巻く今が語られ、センター活動への共感が生まれ、人と人との交流によって課題解決への糸口が見いだされるのが会の生み出す効果です。



● 中海圏域の利・活用プロジェクト

中海湖岸域の水辺に親しむ活動拠点整備計画の基礎資料を作成しました。具体的には、①環境教育活動やスポーツ活動の実態②水辺の環境教育の拠点の一つである水鳥公園の温熱環境実測③中海漁協・釣り具店等の調査に基づくゴス釣りマップ作成やゴス試食会等を行いました。



You Tubeチャンネル登録をお願いします！

● 認定NPO法人自然再生センター ● やっほー！中海宍道湖チャンネル 動画随時更新中！

取材・講演

【取材・視察受入】

新聞掲載15件、テレビ取材20件、視察4件（敬称略 4月：食のトータルコーディネーター La CUCINA/NPO法人ひと・まちこれから/5月：武蔵大学社会学部教授/6月：認定NPO法人西中国山地自然史研究会/NPO法人三段峡・太田川流域研究会/2月：NPO法人かいろう基山/九重ふるさと自然学校/NPO法人河北瀧湖沼研究所）がありました。

【新聞掲載】

| 日付 | 新聞社 | 内容 |
|--------|--------|--------------------------------------|
| 7月7日 | 山陰中央新報 | 「意東小児童が中海水質調査」 |
| 7月11日 | 読売新聞 | 「水草刈り 天神川きれいに 松江で大量繁殖 児童ら回収作業」 |
| | 毎日新聞 | 「僕らの川きれいに 松江で水草刈り」 |
| 7月12日 | 山陰中央新報 | 「街角トピックス「児童が天神川の水草刈り体験」 |
| 8月10日 | 朝日新聞 | 「水草刈り 児童が体験 天神川 大量繁殖の現状学ぶ」 |
| 8月10日 | 朝日新聞 | 「中高生 藻刈り体験 島大とNPO リケジョ増へ企画」 |
| 8月27日 | 毎日新聞 | 「しまねのひと 認定NPO「自然再生センター」事務局長 小倉加代子さん」 |
| 9月8日 | 山陰中央新報 | 「藻刈りで中海きれいに 連合島根70人船でオゴノリ回収」 |
| 10月20日 | 電気新聞 | 「【島根・鳥取】中海再生へ窪地埋め戻し（Hiピース）」 |
| 11月27日 | 日刊県民福井 | 「自然保全 資金確保考える」 |
| | 山陰中央新報 | 「中海産赤貝の味 特徴は有明産と殻蒸し作り食べ比べ意東小5年生27人」 |
| 12月6日 | 読売新聞 | 「小学生赤貝食べ比べ 松江 中海産と有明海産」 |
| | 中国新聞 | 「中海産赤貝の味「濃厚」松江 児童、県外産と食べ比べ」 |
| 1月12日 | 山陰中央新報 | 「環境保全活動を支援 ゆうちょ銀行NPOに寄付金贈呈」 |
| 3月1日 | 読売新聞 | 「うちのセンセイ @ 島根「中海で生物や水質調査」 |

【テレビ取材】

| 日付 | 局 | 内容 |
|--------|---------------------------|-------------------------------|
| 5月16日 | 山陰放送 | 「宮川大助・花子のハテはてな？」オゴノリ採り体験・食の会」 |
| 7月3日 | NHK松江放送局 マーブルテレビ | 「意東小中海クルーズ」 |
| 7月28日 | NHK松江放送局 山陰中央テレビ | 「天神川の水草刈り（堅町河守カッパ隊）」 |
| 8月8日 | マーブルテレビ 日本海テレビ | 「天神川の水草刈り（中電）」 |
| 8月9日 | 日本海テレビ 山陰中央テレビ 山陰放送 中海テレビ | 「藻ガールしまねガールズサイエンスプロジェクト」 |
| 9月29日 | NHK松江放送局 マーブルテレビ | 「意東小ゴズ釣り調理」 |
| 10月12日 | マーブルテレビ | 「八束学園出前授業 オゴノリ刈り」 |
| 10月26日 | 山陰中央テレビ | 「内中原小ゴズ釣り水質調査」 |
| 12月5日 | NHK松江放送局 日本海テレビ 山陰放送 | 「意東小赤貝食べ比べ」 |
| 12月10日 | 中海テレビ | 「中海湖岸域の利活用プロジェクト」 |
| 12月15日 | マーブルテレビ | 「意東小赤貝販売」 |



5 自然再生センターについて

法人概要と組織

【組織図】



【役員】

- 〈理事長〉 ●熊谷 昌彦 〈米子工業専門学校名誉教授〉
- 〈副理事長〉 ●渡部 敏樹 〈自然農法園「さかい夢の浜」農園長〉 ●國井 秀伸 〈島根大学名誉教授〉
- 〈専務理事〉 ●小倉加代子 〈自然再生センター事務局局長兼務〉
- 〈理事〉 ●桑谷 猛 〈奥出雲町教育魅力化協議会統括プロデューサー〉 ●田中 秀典 〈(公財)島根県環境保健公社〉
- 毛利 葉 〈(公財)とっとり県民活動活性化センター常務理事・事務局局長〉
- 原田 守 〈有限会社ポイントアンドライン代表取締役〉
- 〈監事〉 ●松本 一郎 〈島根大学大学院教育学研究科副学部長・教職大学院専攻長〉 ●増永 二之 〈島根大学生物資源科学部教授〉

中海自然再生協議会の運營業務

全国に25カ所ある自然再生推進法に基づく法定協議会のうち、中海自然再生協議会の事務局を、両県をまたぐことから民間である当NPOが担っており、島根・鳥取両県をはじめとする行政機関の積極的参加が行われています。今年度は協議会を3回開催し、6月の第1回協議会では、協議会初の公募により國井秀伸氏が第6期の会長に就任。(副会長は神谷要氏) 協議してきた4つの個別事業からなる第2期事業実施計画は、環境省の専門家会議での委員の意見を取り入れた形で2017年9月付で承認され、中海での新たな自然再生事業が開始されることとなりました。

法人活動を考える「見える化ツール」開発（環境省）

主に中海自然再生協議会が実施している取組を社会学的な観点から評価し、社会学の専門家である菊池直樹氏（金沢大学人間社会研究附属地域政策研究センター）の助言を受けながら、他の地域でも使える汎用性のある手法を検討していきます。全国の法定協議会2ヶ所（広島県・福井県）でワークショップを開催しました。



振り返りシートの一部抜粋

菊池氏コメント

自然再生活動には多様な人がかわかり、大事にすることも違います。このツールを使って仲間と話し合いをすると、それぞれが大事にしていることへの「気づき」があり、これからの活動へのヒントが見つかるかもしれません。

中海は宝物

作詞・作曲 意東小学校

1. 青く光る宝石 潮風がほほをなでながら
魚たちがゆうがに 泳いでいる ふるさとの海

ゴスはしぶきを上げて 赤貝は歌ってる
大切な汽水湖さ 力を合わせて守りぬこう

※なんてみりよくてきな海なんだ！

この手で守ろう みんなの宝物
※くり返し

2. 大好き ほくらの中海 海も人もみんな笑顔になる
すばらしい海だから 守りぬこう みんなでこの手で

私たちが生まれる ずっと前からの宝物
中海のこれからを 考えることからはじめよう

※なんてみりよくてきな海なんだ

意東で守ろう ふるさとの味
※くり返し

ああ 中海が大好きさ

青くかがやくふるさとの海
なんてみりよくてきな海なんだ

みんなで守ろう意東の中海
みんなの中海



6 支援いただいている皆様

- 団体寄付 …………… 19件
- 一般寄付 …… 延べ176件

● 2017年度にご寄付いただいた団体 (50音順・敬称略)

【団体】 アジア建設工業株式会社／板倉歯科医院／NPO法人未来守りネットワーク／F&Y境港（社会福祉法人養和会）／株式会社 藤忠／株式会社さかや／ゆうちょ銀行（公益社団法人 日本フィナンソロピー協会）／生活協同組合しまね／中国ろうきんNPO寄付システム／TERAMOTO 社会保険労務士法人／東洋ソーラー株式会社／中海漁業協同組合／中村茶舗／パン屋 空／松江市立 意東小学校／柳屋／有限会社 高浜印刷／有限会社 福田鉄工所／有限会社 松江自動車テストセンター

団体へのメッセージ

中海・宍道湖は、貴重な汽水域であるにもかかわらず、昨今の周辺の開発行為から昔の自然環境が奪われ、シジミも昔ほど採れなくなってしまうと聞き心を痛めておりました。その折、皆さま方が、石炭灰技術を活用しながら、自然を再生する取り組みをなさっているというお話を聞き、ぜひともご協力させていただきたいと思い、微力ながら寄付をさせていただきますました。皆様の方でぜひとも昔の中海・宍道湖へ再生してください。応援しております。

● 寄付の方法について

【お振込み】 ①山陰合同銀行：島大前支店（100）普通3677682 自然再生センター

②ゆうちょ銀行：ゆうちょ銀行から 記号番号 15320-8063331 特定非営利活動法人自然再生センター

その他の金融機関から 店名：五三八 店番：538 普通0806333

【クレジット】 自然再生センターの公式ホームページからお手続きください

認定NPO法人自然再生センター

〒690-0064 島根県松江市天神町114 TEL：0852-21-4882 / FAX：0852-61-0900 E-mail：info@sizen-saisei.org



最新情報を毎日発信しています。

● フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/sizen.saisei/>



お振込み方法・イベント申し込みはコチラ

● ホームページ

<https://www.sizen-saisei.org/>